

新型インフルエンザについて 第二報

2009.6.18

余市医師会 理事 小嶋研一
会長 永井文作

新型インフルエンザの国内発生数も微増の状態です。6月17日現在、約650人です。しかしオーストラリアでは一日に1000人を超える発生が確認されており、全世界では6月12日現在、3万人の発生を認めています。WHOも今回の新型インフルエンザの流行の指針をフェイズ6に引き上げました。今後ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアから世界中に感染の広がる可能性が高まっています。

まだ余市や後志管内で新型インフルエンザの発生は認めてはいませんが、6月11日北海道内では初めての感染が札幌で認められました。20代のハワイから帰国した男性です。その後6月15日にハワイから帰国した20代の女性(帯広市)と70代の男性(胆振管内)の2人が認められ、道内感染者が3人に増えました。

今後秋から冬に向けて南半球から北半球に流行地域が移動する可能性が高いと思われます。新型インフルエンザのワクチンも秋までには生産可能との事ですが詳細は不明です。しかし季節性のインフルエンザ流行は例年11月以降ですので、それまでには新型インフルエンザワクチンの製造は可能かと思われます。

通常ですと今の時期は感冒の流行する季節ではありません。

- 発熱(38℃以上)を伴う咳、関節痛、咽頭痛などの症状がある場合で、海外から帰国した人、最近接触した人が新型インフルエンザと診断された場合、新型インフルエンザに感染している可能性があります。最寄りの医療機関を受診する前に倶知安保健所内発熱相談センター(0136-23-1951)に電話で相談して下さい。
- 同様の症状でも前のような条件に当たらない方は、必ずマスク着用の上、最寄りの医療機関を受診して下さい。

今後、オーストラリア等海外交流の盛んな後志地区には、海外から直接新型インフルエンザが持ち込まれる可能性もあり注意が必要です。

現在、新型インフルエンザの流行拡大の防止策は手洗いとマスク着用です。

軽い咳の出ている場合も、咳エチケットとしてマスクの着用をお願いいたします。